



さまざまな出し物が披露された新年演芸交流大会

**各**地域の老人クラブが余興を披露して新年を祝う新年演芸交流大会

会（洞爺湖町老人クラブ連合会主催）が、1月18日洞爺湖文化センターで開かれ、15団体約120人が参加し、カラオケや合唱などで会員同士の交流を深めました。

畠山三男同副会長のあいさつや来賓の真屋敏春町長、佐々木良一町議会議長の祝辞に続いて、交流大会が開演。

ステージでは、歌や踊り、合唱、紙芝居など、芸達者な皆さんの出し物が次々上演され、会場から拍手と声援が送られていました。

## 新春祝う演芸交流大会 余興披露で盛り上がる

## 文部科学大臣優秀教職員表彰 洞爺中事務職員阿部さん

**洞**爺中学校事務職員の阿部秀彦さんが文部科学大臣優秀教職員表彰を受賞し、1月18日に遠藤教育長を訪ね、表彰を報告しました。

阿部さんは、ICT機器に精通し、テストの点数や授業態度を入力すると成績に反映されるシステム作りなどを行い、校務の軽減化に成果を上げたことやネット



賞状を手にする阿部さん

トパトロール業務を担い、生徒・保護者向けの情報モラル教育を実施。

また、洞爺湖有珠火山マイスターとして防災教育や有珠山のフィールドワークを実践する活動が評価されました。

阿部さんは「今後も学校や子どもたちのために活動を続けていきたい」と話しました。

## 給食に地元ホタテのカレー いぶり噴火湾漁協提供

**噴**火湾産のホタテをふんだんに使用した学校給食が、町内小中学校で振る舞われ、児童らがおいしく平らげました。

いぶり噴火湾漁業協同組合が、児童らに地元のホタテのおいしさを知ってもらおうと、2年貝195\*を無償で提供。カレーの日の1月22日にホタテカレーとして、虻田小、中学校と洞爺湖温泉小学校の給食に登場しました。虻田小の1年2組では、普段から人気のカレーとあっておかわりが続出。「ホタテの出汁がきいていて、甘みもあり、めっちゃおいしい」とあつという間に完食していました。洞爺地区では、1月29



ホタテカレーをおいしそうに頬張る児童たち

日の給食に、ホタテの甘辛煮として提供されました。



集中して作品づくりに励む会員たち

**ウ**ィメンズネットワーク洞爺湖は、冬の恒例行事となったあ

みもの教室を文化交流会館で開き、自分だけのオリジナル作品に挑戦しました。

初回の1月23日は、会員ら約20人が参加し、パインガーデンプルの長袖と半袖、プルオーバー、ベスト、バイカラーベストの用意された5種類のうち、各自好きなものを選択し、作品作りに取り掛かりました。同教室は、これ以降1月30日、2月6日の3回シリーズで行われ、講座終了までに各自作品を完成させました。

## ウィメンズ編み物教室 手作りニットを楽しむ



# まちのわだい

## 読書感想画・読書紹介文の表彰 読書の習慣呼びかけ

秋の読書週間に合わせて募集した読書感想画・読書紹介文の表彰式（教育委員会・洞爺湖ロータリークラブ主催）が、12月16日に虻田小、中学校、18日には洞爺湖温泉小で行われました。

町内各小、中学校から、読書感想画9点、読書紹介文103点の応募があり、4人が最優秀賞を受賞しました。

受賞者は次のとおり。

読書感想画（小学生の部）山本璃音さん（虻田小2年）・同（中学生の部）坂本蒼司さん（洞爺中1年）  
読書紹介文（小学生の部）釣賀怜和くん（虻田小1年）・同（中学生の部）岡部由希さん（虻田中3年）



山本 璃音  
さん



坂本 蒼司  
さん



釣賀 怜和  
さん



岡部 由希  
さん

地方自治法施行から70周年を記念して、監査事務功労者に対する表彰が行われ、宮崎秀雄さん（温泉2区）が、総務大臣表彰を受賞しました。

宮崎さんは、旧虻田町の時から現在まで19年有余の長期間、代表監査委員として、公平で合理的、効率的な地方自治運営に貢献してきました。

12月26日には、町長室で表彰伝達式が行われ、真屋町長から賞状が手渡されました。

宮崎さんは「ありがとうございます。もっともっと住みやすい町になるようにがんばります」と新たな決意を述べました。

## 地方自治法施行 70周年記念 宮崎さん総務大臣表彰



賞状を手にする宮崎さん

1月6日、日本水難救済会虻田救難所（阿部和文所長）の平成



安全を祈願する虻田救難所出初式

30年出初式が虻田ふれ合いセンターで行われ、今年1年の安全と豊漁を所員一同で祈願しました。

式では、人員報告と服装点検の後に真屋監督官から「日頃の救難訓練に精進し、安全操業を心がけ無事故で1年を過ごしていただきたい」と訓示がありました。

来賓のあいさつを受けて、阿部和文所長が「今後も海難事故を起こさないよう肝に銘じ、所員一同力を合わせて努力します」と答辞を述べ、出初式を終了しました。

## 虻田救難所平成 30 年出初式 1年の無事故を誓う

## 真剣な表情で木札を取り合う 新春かるた交流大会

北海道独特の文化である「下の句かるた」を楽しむ、平成30年新春かるた交流大会（洞爺湖スポーツクラブ主催）が1月14日、あぶた体育館で行われ3チームが参加しました。

大会は、3人1組で守り、中堅、突きに分かれて、百人一首の総当たり戦を実施。

参加者は正座で向かい合い、並べられた木札を真剣な表情で見つめ、下の句を読みあげられると素早く木札を取り合いました。

優勝は政明チーム（酒井 篤さん<虻田3区>、佐藤真雄さん<虻田3区>、佐藤政明さん<青葉1区>）



真剣勝負で札を取り合う参加者たち

# まちのわだい

